

一般質問

・原発問題
繰り返された人的ミス
(ヒューマンエラー)について



清水澄夫

問

浜岡原発内での人的ミスはなぜ繰り返されるのか。中部電力(株)は、起こした事故に「ご心配をお掛けして申し訳ない、今後このようなことを繰り返さないよう気を引き締める」と述べた。何回この言葉を繰り返すのか、他人事にしか思えない。市長は以前「人的ミスは事故につながるもの、厳しい対応をする」と述べた。しかし残念ながら繰り返されている。

市長は、事故に向き合う姿勢が甘すぎるのではないかと

一つひとつの原因を分析し、徹底した再発防止に取り組み、ヒューマンエラーの低減や市民の信頼回復に向けた取り組みを強く求めていきます。

他会社で起きたヒューマンエラーの例

現場を確認せずに配管工事を計画したため、工事を実施した時は配管が冷えていたが、運転中に配管が熱で伸びてグレーチング(格子状のフタ)に接触し、ひび割れが発生してしまいました。

答 昨年5月、中部電力(株)から14件の不適合事象、5件のヒューマンエラーが報告されました。不適合事象は、安全上はもちろん、信頼や安心という観点においても、あつてはならないことであり、大変遺憾に感じています。私は、人的ミスが起きた時には、中部電力(株)に対し、その原因を厳しく追及し、二度と同じ事が起きないように再発防止の徹底を申し入れてきました。今後中部電力(株)に対して、不適合事象となった



「実践 ヒューマンエラー対策 皆で考える現場の安全」参照

一般質問

・予算編成について



杉浦謙二

問

当初予算では、財政調整基金20億4千万円余の繰り入れがあり、過去3年間の総額45億1,800万円に今回の額を加算すると、65億5,800万円になります。残高は36億4千万円余となり、今後多額の財政調整基金を繰り入れての予算編成は困難であり、31年度以降は起債や事業の見直しを実施し、予算編成をしていかなければならないのでは

答

予算編成にあたり、歳出の重点化や効率化を図り、財源不足額の削減に努めました。歳入の落ち込みにより、基金からの繰入金や市債を除くと30億円余の財源が不足となりました。財源不足については、財政調整基金や特定目的基金、市債を有効に活用し歳入を確保しました。

問

今後、市の税収見通しは個人・法人・市民税の増額傾向はここ数年続くのではないかと考えます。固定資産税は、大規模償却資産税の減少が大きく、この傾向は続くものと予測されます。

問

大変厳しい財政運営が予測されるが今後は

答

今後予定されている大型事業を含めると相当な財源不足が懸念されます。大型事業には起債をし、同時に交付金などで対応していきたいと思えます。起債も相当な額になるのかと思えますので、しっかりとした財政指標を立てながら進めていきます。

答

数年間は30年度並、あるいはそれ以上になります。

問

総合計画の中の実施計画を進めるには、今後どのような予算編成が予想されるか

